



## 伊久美川の再生策を探る

### 地元関係者と検討

9月20日(木)午後7時から島田市野外活動センター「山の家」で開催。この検討会には伊久美川地区の総代・有識者と組合役員合わせて14名が出席し、伊久美川の課題点が様々な角度から洗い出され、活性化に向けて再生策が検討されました。

その概要は次のとおりです。



↑「川の回復力を如何にして引き出すか…」  
熱のこもった意見交換会

### 1. 放流方法の再検討

#### ①問題点

- ・今シーズンは縄張りをつくるよりも固まった状態であるアユが多かった。5月中旬以降の放流魚はそうなる可能性があると思う。もう少し放流時期を早くした方がいいのではないか。
- ・今年の不漁は大雨によるアユの流出も考えられるが、放流時期の遅れも一因。
- ・6月18～19日に上陸した台風4号以降、伊久美川の放流をもう少し増やした方が良かった。

#### ②対応

- ・琵琶湖産を含めた優良種苗の確保、早期放流(3月)を検討する。
- ・以降、タイミングを図りながら、適時適所に河川規模も考慮しながら必要量を放流していく。

### 2. 魚道の改修

#### ①問題点

- ・放流しても育たない、集中豪雨により流出する等、放流に偏った増殖策の限界が見えてきた。
- ・川口地先の魚道は何の役にも立っていない。改良はできないのか。
- ・天然、人工フ化を問わず、遡上のできる川づくりが急務。
- ・天然遡上のアユは大水が出てでも耐えられるのではないか。魚道を改良し、天然アユを増やす取り組みを進めてほしい。

#### ②対応

- ・魚道について組合運営の上で重要な位置付けをし、これから真摯に検討していく。
- ・この問題は漁協単位では難しい。関係行政機関や利水にかかわる諸団体、中部電力などに協力を求め、速やかに協議検討を進める。

### 3. 水環境の改善

#### ①問題点

- ・山崩れの場所が多く、泥水による汚濁水・河床への砂礫の堆積などで河川環境が悪化している。
- ・流量不足に伴う悪臭の発生が見られる。伊久美川上流部の環境についても調査が必要。
- ・川口や小川～中平の区間にかつて見られた多くの生息に適した淵が、度重なる河川改修での河床の変化によって減少し、漁場が劣化している。

#### ②対応

現状の調査、対策を関係機関と協議する。

### 4. その他

#### ①問題点

- ・伊久美川解禁日が遅く、繰り上げが必要。
- ・高齢者の遊漁料減額の必要性はない。

#### ②対応

漁業権更新(H26年度)に合わせて上記2点を改正すべく、現在、新大井川漁協と協議を進めている。伊久美川は6月10日解禁、高齢者への遊漁料割引は撤廃する方向。

# 釣果を競った2大会

鮎釣り本番

## 地区対抗・関係会社親睦

金谷地区・特種東海製紙(株)優勝



↑ 猛暑の伊久美川。良い釣果が出た城山橋下流

7月7日(土)に伊久美川で開催。晴天続きで水量も比較的少なく、加えて近年にない猛暑で厳しい環境の中での大会となりました。

結果は次のとおりです。

<地区対抗>

※( )は前年順位

順位※	地区名	尾数	重量(g)
1 (5)	金谷	34	1,617
2 (6)	北川根	24	1,186
3 (3)	島田	28	1,071
4 (1)	大井川	25	1,064
5 (2)	川根	16	756
6 (4)	伊久美川	16	575

<団体の部>

順位※	地区名	尾数	重量(g)
1 (1)	特種東海製紙	38	1,840
2 (2)	中部電力	25	1,147

<個人の部>

順位※	氏名(所属)	尾数	重量(g)
1 (初)	相原知幸(特種)	20	953
2 (37)	小口博(中電)	19	833
3 (1)	牧野由直(金谷)	16	763
4 (9)	齋藤喜芳(島田)	15	565
5 (-)	池谷勉(大井川)	11	512

猛暑の中、期待を担って友釣り大会に挑戦した第47回地区対抗・関係会社親睦大会。そして第59回県あゆ友釣り競技選手権大会の戦跡を追ってみました。

僅差で優勝を逸す

## 県友釣り競技大会

選手たちの背に容赦なくたたきつける雨、苦闘を強いられた狩野川での大会。

7月1日(日)24チーム120名が各漁協の期待を担って釣果を競い合いました。

本組合は1位と同尾数でしたが総重量で96g及ばず、結果的には団体4位の成績でした。

上位チームは次のとおりです。

<団体の部>

順位	漁協名	重量(g)	尾数
1	新大井川	1,752	42
2	狩野川B	1,746	48
-	狩野川A ※	1,719	44
3	阿多古川	1,679	43
4	大井川	1,656	42
5	安倍藁科川	1,543	41

※大会規定により開催漁協2チーム中、上位1チームのみ。

<個人の部>

順位	氏名(所属漁協)	重量(g)	尾数
1	中根 斉(阿多古川)	725	15
2	木下 敦(興津川)	678	19
3	三浦 登(新大井川)	599	12

本組合では塚本俊之さんが479g(13尾)で7位でした。



↑ 雨の狩野川で健闘する選手

# 川はこどもの栄養源

いきいき学習3題

## ＜大井川川まつり＞

8月24日（金）、プラザおおりで開催された第14回大井川川まつり。「くらしと大井川のかかわり」を知ってもらう恒例の企画ですが、今回はFM島田での呼びかけや学校へのチラシ配布などの積極的な広報で400名前後の来場者があり、例年以上に賑やかなイベントとなりました。

関係団体からはLEDと豆電球の消費電力の違いを比べる『電気実験』や坂を転がる水のボールで威力を体感する『水のちから』、川の水が水道水になるまでを紹介したコーナーや輦台越し・聖牛模型の展示などが行われ、多くの来場者の関心を惹いていました。



↑ 笹舟作りを楽しむ子ども達

### 「電気実験」コーナー

↓ どのくらいで電球が付くかな？



### 組合はミニ水族館

今年は昨年からの濁水などで大井川の魚が減り、確保に苦労しましたが、アユやアマゴ、カワムツやヨシノボリなど、計8種の水生生物を展示しました。また『川のおさかなクイズ』では、正解を求めて水槽を念入りに眺める子ども達も多く、「大井川にウナギ



↑ みんなサワガニにくぎづけ

がいるとは知らなかった」など、魚と触れ合い興味を持ってもらういい機会になったようです。

## 水生生物を評価

8月8日、国交省静岡河川事務所が初倉小児童とともに大井川（島田市阪本）で水質評価のため簡易水質検査を行い、子ども達はタモやふるいを手に川に入り、普段目にする事の少ない水生生物の観察をしました。評価結果は「きれいな水」を示す生物が多く見られました。ほかにも市内では3日に神座小、7日に六合東小が実施しました。

## 初心者の 鮎友釣り教室

7月29日（日）午前9時から伊久美川でハヤ釣り（親子向け）と鮎友釣り（中学生以上）の初心者向け教室を開催しました。

鮎友釣り教室では7名の参加があり、1時間余りの講義（アユの習性・漁具・釣法）のあと、伊久美川での実技指導を受けました。友竿を手にスタッフから鼻環の付け方やポイントの見極め方の指導を受け、渇水気味でしたがポイントを探りながら初めてのオトリ操作を楽しみました。



↑ 友釣りの講義にも熱が入ります。

ハヤ釣り教室に参加した参加者（保護者含め15名）は、やまゆりで川のきまりや仕掛けの結び方などの講義を受けた後、淵に行きカワムツのえさ釣りを楽しみました。当たりを待つ子ども達の表情は真剣そのもの。親子とも川釣りは初めてという家族もいて、釣りあげる度に歓声が上がり、20尾以上を釣り上げる参加者もいました。

### ご提供ありがとうございます

本教室にあたり釣具を寄贈してくださった方々です。釣具は今後も組合活動の中で大事に使用していきたいと思っております。

- ・ 高本茂義 様・親義 様  
（手製おとり缶・たも網、鮎竿）
- ・ 西澤信雄 様（おとり缶）
- ・ 景山勝治 様（鮎竿）

また、釣具をお貸しくださいました皆様ありがとうございました。



↑ 次々と釣れて、みんな思わず夢中。

## 組合からのお知らせ

### 10月から河川工事が始まります。

昨年の台風などで傷んだ護岸の災害復旧工事が各所で予定されています。なお、漁協では川の瀬替えなどによる漁場や魚類への被害を最小限にできるように、現場立会いなどを行い調整しています。

現時点で予定されている工事は次のとおりです。

- ・島田市丹原、鍋島、福用、伊太、横井、道悦
- ・焼津市上泉 ・吉田町川尻

### 大井川河口の閉塞が確認されています。

堆積土などによる河口の形状悪化や今夏の少雨などにより、大井川河口部が海と繋がらず閉塞状態となっていることが8月8日に確認されました。

閉塞は増水時は解消されるものの、今まで記録がなく、少なくとも組合始まって以来のことと思われます。今後は鮎などの産卵期にも入りますので、その対応を国交省と検討しています。



← 中央やや右寄りですが、8月下旬の河口開口部。湾曲し、狭まっています。

### 牛尾地先『平成の大改修』が始まります。

新聞などでも大きく取り上げられましたが、大井川右岸「牛尾山」を削る大井川の拡幅工事が始まります。

この工事は川の狭窄部を削ることで大井川の氾濫に対し地域の安全を図ろうとするもので、7～8年の計画で進めています。



## 6～9月 業務報告

- 5/30 河川監視員会議
- 31 専従監視員の河川監視開始
- 6/ 1 大井川あゆ漁解禁
- 2 鍋島・川口地先違法漁業監視開始(土・日)
- 8 地区対抗大会について打合せ
- 13 県水産資源課と打ち合わせ
- 15 あゆ放流300kg(本流、伊久美川)
- 18 伊久美川テープ撤去作業
- 21 伊久美川あゆ漁解禁
- 25 利水団体に増殖事業への協力を依頼
- 28 国交省と河川視察
- 30 鍋島・川口地先の違法漁業監視終了
- 7/ 1 県あゆ友釣競技選手権大会(狩野川)
- 5 あゆ300kg成魚放流(伊久美川17か所)
- 7 地区対抗競技大会(伊久美川)
- 〃 第3回理事会 漁業権更新について
- 11 県と漁業権更新に伴う河川調査
- 12 あまご6,000尾放流
- 19 うなぎ600尾放流
- 〃 大井川漁場管理運営協議会 漁業権について
- 21 河川敷地利用合同パトロール
- 29 釣り教室開催
- 8/ 2 監事会(平成24年度上期 会計監査)
- 8 濁水により大井川河口が閉塞
- 13 夏季休暇(～16日)
- 24 大井川川まつり
- 29 島田土木と河川工事打合せ
- 9/ 1 投網・たも網漁解禁
- 7 企画運営委員会
- 13 国交省と打合せ 河川工事について
- 20 伊久美川の再生について検討会(山の家)
- 24 「平成の大改修」起工式(牛尾地区)
- 28 漁協通信第13号発行

### < 計 報 >

岡本 八郎 氏(享年69歳、焼津市飯淵)

稚あゆ遡上期の河口採捕に携われ、長年当組合の大井川地区総代を務めてくださいましたが、去る7月19日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



### 編集後記

今号は「伊久美川再生の課題」を取り上げました。

内水面漁業振興に係る研究調査や技術開発には、これまで各地の再生事業を通して累積された知見があります。この知見を伊久美川再生の課題と関連付けて取り組み方を検討するとともに、短期的対応と中長期的な対策課題とに整理し、地元の協力をいただきながら進めていくことが必要かと思えます。(小林)